



昭和49年

8月号

発行所 東郷町役場
編集人

家庭用焼却炉をあつせん

急がれるゴミ処理

国民生活の向上とともに、ちかごろは食料品の容器や台所用品など、使い捨てをみこんだ商品が数多く出まわっています。

このような物品の使用は、一面ではわたしたちの生活を便利で文化的なものにしていますが、反面わたしたち自身ではとうてい処理しきれない程のゴミを生じさせる原因にもなっています。

最近では近くの河川や空地はいたるころゴミの山が目につくようになり、わたしたちの願いである「美しく明るい住みよい郷土づくり」を達成することも憂慮されています。

その対策として町では今年度から二カ年計画で日向市と共同で大型のゴミ処理施設を建設することにしていきます。建設用地が決まり

しだい着工することになっていますが、完成は昭和五十一年三月の予定です。

当面する家庭用ゴミ処理を早急に解決するため、町ではゴミ焼却炉をあつせんして、その購入費の三分の一を補助しました。

しかし当初計画では百基を見込んで予算措置をしていましたが、連絡の不徹底もあって、希望しながらも購入しなかった人もいるようです。近く第二回目の申し込みを計画していますが、現在業者と価格などを協議していますので、決定しだいお知らせします。

自分で処理できるゴミは自分で処理するようにし、明るい町づくりのために、みなさんひとりひとりのご協力をおねがいします。



第三日曜日(十八日)は家庭の日

……とじて保存しよう……

点滴



朝参供養

つい口に出してしまうのが暑さです。毎日つよい太陽が照りつけ、むくむくとした入道雲が見られます。

▽お盆は十五日です。以前は旧暦の七月十五日に行なわれていましたが、新暦でちょうどこのころにあたることから一月遅れの盆になったものと思われれます。寺迫地方では農作業の都合でお盆は七月十五日でした。

▽十七日は「朝参供養」が成願寺で行なわれます。元禄時代の山陰百姓一揆で二十一人の尊い犠牲がありました。それが住みよい村づくりの礎となったとして、四十四年八月に山陰百姓一揆の碑を成願寺境内に建立しました。事件後二百八十年をすぎた今日、いづこの家の祖先を知る由もありませんが、みなさんとともにこの一揆に参加した千四百二十二人の霊を慰め、冥福を祈りたいものです。

おもひやるかのうす青き峡のおくにわれのうまれし朝のさびしき 牧水

すでに78タークを開こん

すすむ農地造成事業

昭和四十二年からすすめている国営美々津農用地開発事業は、農家経営の安定と所得の増大をはかるために、国の手で山林や原野を開こんし、地元民の増反、入植をさせるものです。

現在二百五十軒(本町分はみかん三十三軒、桑四十一・五軒、牧草三・五軒)を開こんし、植栽も終っています。六十戸の農家に仮配分を行ない序詞の目的を達成するために努力しています。

さらに、四十九年度は六億一千万円の事業予算がつき、開こんが別表のとおり決定しました。本町では、寺迫と日尾団地の造成と一部道路を完成させる予定になっていました。

なお、残りの地区用地は年次計画によりさらに関係機関の協力をえながら推進しています。

造成地の災害対策

昭和四十六年度から開こんを終った団地の参加農家が造成地の災害対策機構をつくりました。

各団地ごとに責任者が決まっていますので、災害発生ときはその責任者を通して町に連絡していただくようお願いいたします。

美々津開拓建設事業所 (情報処理総括班) 工事課 電(日)2-5672		東郷町企画開発課 開係係電(やまげ)5613		東郷町対策本部 (やまげ)1
鶴野内団地	17名	班長 鈴木 明		
小野田団地	5名	班長 山田 忠義		
日田尾団地	16名	班長 高尾金次郎		
日平団地	3名	班長 橋口 虎市		
日向原団地	11名	班長 海野佐津男		
大塚山団地	10名	班長 田代 安夫		

※緊急の場合は、直接事業所に連絡

市町別	開こん工事 (ha)			道路工事 (m)		
	造成面積			全体	幹線道路	支線道路
	全体	桑	みかん			
東郷町	16.5	10.0	6.5	1,200	1,200	0
日向市	42.7	27.7	15.0	2,740	0	2,740
都農町	46.4	11.4	35.0	6,000	3,000	3,000
計	105.6	49.1	56.5	9,940	4,200	5,740

国民年金の保険料は 忘れずに納めよう

国民年金の保険料はもう納められましたか。

国民年金の保険料は 四、五、六月份は 七、八、九月份は 七、八、九月份は 七、八、九月份は

七月末日まで
十月末日まで
十一月、十二月份は

夏の交通安全

ことしになって県内の交通事故による死者はやや減少し、史上最悪だった昨年同期を三十九人下回っています。しかし、幼児やおとしよりの死亡者は相変わらず後をたちません。

このような情勢の中にあつて本格的な夏を迎え、暑さのためあるいは夏休みを利用して長距離旅行など心身の疲労に起因する過労、いねむり運転または涼とスリルを求めての無謀運転などによる重大事故の発生が予想されます。

このようなことから、前期の

七月十一日から二十日までの十日間につづいて、後期も八月十一日から二十日までの十日間、子どもと老人の事故防止、自転車、二輪車の事故防止、過労、飲酒運転等無謀運転防止——を重点目標とし、夏の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されます。

運動者はもちろん、歩行者もすべての人が正しい交通ルールを習慣づけ、交通事故をなくすように努めましょう。

交通事故はちょっとした油断や不注意から起きています。運転者はたえず運転には最善の注意を払うとともに、事故の恐ろしさを認識し、安全運転に努めてください。

七月十一日から二十日までの十日間につづいて、後期も八月十一日から二十日までの十日間、子どもと老人の事故防止、自転車、二輪車の事故防止、過労、飲酒運転等無謀運転防止——を重点目標とし、夏の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されます。

運動者はもちろん、歩行者もすべての人が正しい交通ルールを習慣づけ、交通事故をなくすように努めましょう。

交通事故はちょっとした油断や不注意から起きています。運転者はたえず運転には最善の注意を払うとともに、事故の恐ろしさを認識し、安全運転に努めてください。

国保と交通事故

示談は慎重に!!

先月号で「交通事故による示談は慎重に」ということを話しましたが、今月は具体的な事例によって重要性をのべてみます。

Aさんの場合

国民健康保険の被保険者であるAさんは、昨年の八月に交通事故にあい、ことしの一月まで入院するといふ大ケガをしました。治療代も百万円という高額になりました。退院後は通院して治療をうけていたが、全快しないままに示談を結びました。

示談書によると①被害者本人にも二割の過失があり②示談後後遺症の治療については被害者の負担による——というのが主な内容です。

治療代の七割は 国保で一時的替え

この示談による治療代の負担状況は一体どうなるのでしょうか。まず、被害者に二割の過失がありますから、総治療費百万円のうち

ち二十万円については被害者の請求権が消滅します。すなわち、加害者は八十万円だけ賠償すればよいことになりました。

つぎに、治療は国民健康保険を使っていますからその分の償還はどうなるのでしょうか。国保は七割給付ですから治療代七十万円を負担している訳です。

そこで大事なことは、示談によって被害者は二割の過失がありまゝすから、国保は七十万円の二割つまり十四万円については請求する権利が消滅してしまい、結局加害者に請求できるのは五十六万円に減額されてしまいます。

また、後遺症の治療代は被害者負担ということですから、今後何万円かかろうと全て国保で七割の給付をしなければなりません。

第三者行為は 加害者の負担

以上、治療代の負担状況を計算してみました。先月号でお知らせしたように「交通事故など第三者行為(ケンカや犯罪による障害)は加害者が負担する」ということがい

お気軽に相談を

交通事故などにあった人、またはそのことを知った人は、必ず町長(事務取扱いは住民課)へ届出をしてください。先月、町報で初めて知りましたと相談にいられた人がいます。話によると、交通事故にあつた治療中、また交通事故にあられたこととあります。たいへん複雑な状況です。

交通事故についての相談は総務課でもあつていますが、お気軽にお問い合わせください。

町政懇談会

町長 随想

梅雨があけて太陽がきらきらする七月は毎年恒例の町政懇談会の季節である。

今年の懇談会ではまず「物価高の現状にあつて町民の生活はいかにあるべきか。結論として物を大事にして耐乏生活を推進しよう。今までの生活を反省して、物に対する考え方、人の和に対する考え方、社会の進歩に伴う生活のあり方をお互いの力で改善しよう。

次に東郷町の人口は現在七千を上下しているが、少々なるとも九千の人口がほしい。出かせぎや通勤者が自分の町で働けるため工場誘致に努力しているが、農林業との融合、公害のこと、所得向上のことなどいろいろの問題がある。それを克服しなければならぬ。

さらに産業の基本である農林業振興を農政不振の中にあつていかに対処すべきか。世界の各国は食糧の自給態勢を確立しようとしている。日本でもようやくそのような方針がきまり、国の予算も大幅に増額された。農

林業に対する意欲が起り、経営の安定がなければ農林業は衰微してゆく。

最後に昭和四十九年度の予算編成の方針とその内容につき説明。町民の理解と協力がなければ効果的な運営はできない」と語った。

この懇談会は数えて八回目になる。先年山村振興計画の基本調査のために来町された九州大学の田代教授は、内容についていろいろ検討する必要があるが町行政の中で大事なことであり高く評価されていた。

なるほど場あたりの質的発言は少ない。しかし住民が行政に直接発言する機会はずくないのである。わたしたちも住民の声を間接にきくより、直接きくことに大きな衝撃をうける。行政の手がすみずみまで通っていないことをいやというほど知らされるのである。生きた行政には生きた声が反映しておらなければならない。

(小野 弘)

X X X

町政懇談会は七月から八月にかけて町内全地区で開かれています。その内容は町報にてお知らせする予定です。



中学校体育大会の予選会

庭球 男子 坪谷中が優勝

宮崎県中学校体育大会の東曰杵南部地区予選会(東郷町、南郷村、西郷村、北郷村、諸塚村、椎葉村)に本町の中学校からも出場し、各種目に好成績をおめました。

7月12日
柔道 越表小学校

団体戦に坪谷中と越表分校が出場、戦前の予想では優勝候補の呼び声の高かった越表分校(選手五

人のうち初段が四人)は惜しくも三位にとどまりました。個人戦では坪谷中の甲斐清久君が決勝戦に進出、善戦しましたが惜しくも南郷中に敗れて二位に終わりました。しかし、県大会には出場することになりました。

7月13・15日
軟式庭球 坪谷中学校

男子 坪谷中

団体戦に坪谷中、東郷中など五校が出場。坪谷中が予選、決勝とも全勝して優勝をかぎりました。坪谷中はさきの県北地区大会(延岡市、日向市、東・西曰杵郡)で

も優勝しているだけに、終始落ち着いたプレーで、県大会への代表権を手中におさめました。個人戦は各校二チームずつの出場。決勝戦は坪谷中同志の戦いとなり、結局海野良一・矢野郁夫組が那須正徳・矢野善文組を四対三で破り優勝、両チームとも県大会へ出場することになりました。

女子

団体戦に東郷中、坪谷中など五校が出場。決勝戦は東郷中と坪谷中の本町勢同志の戦いとなり、接戦の末東郷中が二対一で勝ち優勝しました。

7月12日
野球 西郷中学校

本町から東郷中が出場、一回戦不戦勝のあと西郷中と対戦しました。序盤は互角の試合でしたが、終盤にはいって守備の乱れから相手に得点を許し、二対七で敗退しました。

町出身の歌手誕生

九條はるみデビュー



迫野内出身の黒木喜久子さんが七月一日にキングレコードからデビューしました。喜久子さんは農業黒木敏夫

さんの長女で、県立富島高校を卒業後歌の勉強のため上京作曲家・米山正夫氏に師事、才能が認められて歌手九條はるみとして晴れのデビューをしたものです。デビュー曲は「どこにでもある話」(茂庭ただし作詞、上野たけし作曲)で演歌調。今後の活躍が期待されます。

7月17日
バレーボール 東郷町中央公民館 東郷中学校

坪谷中が準優勝

昨年から中学生も六人制となり高度のプレーが要求されるようになりました。十三チームが三パートで予選リーグを行ない、勝ち抜いた四チームで決勝トーナメントを行ないました。

Aパートには東郷中と越表分校の本町勢同志があたりましたが、西郷中に敗れて惜しくも予選で姿を消しました。

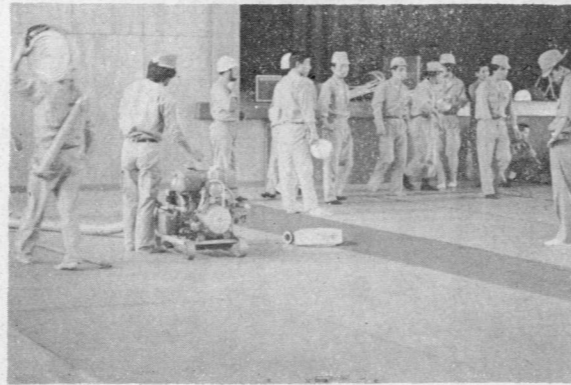
Cパートでは坪谷中が二勝して決勝トーナメントへ進みました。決勝トーナメントではまず坪谷中が椎葉中に二対〇で勝ち、決勝で諸塚中と対戦しました。ここまで三試合を勝ち抜いてきた両チームだけに、技術的な戦いより精神力の戦いといった感じを強く受けました。第一セット、坪谷中は十二対二

以上、種目別に成績をご紹介しますが、どの試合にも、中学生らしいきびきびした態度で、最後まで試合をすてないねばり強さが見られ、強いチームワークにすがすがしいスポーツ精神が感じられました。また、どの会場にも熱心な父母の顔が見られ、声をかぎりの応援をしていました。県の大会は八月一日から三日までの三日間、宮崎市の総合運動公園で開かれます。

移動消防学校で訓練 延400人が参加



夏の移動消防学校が七月十三日と十四日の両日、中央公民館を中心に開かれました。これは宮崎県消防学校の教養計画にもとずいて開かれているもので、この日は東郷町、日向市、南郷村の各消防団から延四百人の団員が参加しました。炎天下に参加した団員は規律、各個動作、小型ポンプ操作を主体に消防学校の二人の教官から熱心に指導を受けていました。若い年代の流出により消防団員の数は少なくなったとはいえ、各種訓練の積み重ねによって団員の志気は高まり、消防技術の向上も相まって、たのもし消防団員として期待されています。



「牧水とふるさと」展開く

記念館の資料を公開



本町が生んだ日本の代表的歌人若山牧水先生の芸術と生涯を紹介した「牧水とふるさと」展(東郷町・宮崎日日新聞社主催)が七月十八日から二十九日まで、宮崎市の宮崎山形屋で開かれました。この展覧会には、牧水先生の父母、祖父母、おいたちから晩年までの資料を展示しました。また、ふるさとと牧水先生の深い結びつきを強調する意味もあって、牧水先生ゆかりの人たちの資料も展示しました。これらは牧水記念館の全資料を中心に県内外の秘蔵家のみなさんからも協力出品していただきました。会場は連日たくさんの人たちが訪れ、にぎわっていました。

郷土のあゆみ(20)

塩月儀市

十一、明治時代(五)

明治二十二年四月一日に町村制が施行され、山陰村、坪谷村下三ヶ村の三村を併せて東郷村とし、今までの小野田、坪谷の戸長役場を廃して東郷村役場を小野田に置きました。東郷の名については次のように県に報告しています。

「東郷村の名を付するは入郷と称する地方の一部にして其の東方に位するを以てなり」五月十八日にはじめて村会議員十八名が選出されまして、同日議員の選出で甲斐定一郎氏が初代の村長に就任しました。

六月二十一日の村会で議事細則、明治二十二年年度予算、役員数、村長以下の給料、人夫使役方法等が議決されました。才入才出予算は

才入、村税(地価割、営業割戸別割)一五〇八円八〇銭八厘

役場費 八八三円八三銭五厘

会議費 四五四八〇銭

土木費 二円

教育費 五二六円六二銭五厘

衛生費 六円

予費 四四四四四銭八厘

が計上されています。

役員吏員と村長以下の給料につ

いては

村長 報酬年二二〇円

助役 月十円

収入役 〃 八円

書記三名 内二名六円 一名五円五〇銭

雇 一名 月四円五〇銭

使丁 三名 日給八銭

人夫使役方法(賃金)

寺迫二〇銭、福瀬五銭、坪谷一〇銭、仲瀬八銭、羽坂四銭

田野五銭、八重原六銭、鶴野内四銭、西迫野内七銭、東迫野内六銭

延岡行き人足五〇銭

となつています。当時米価は一升五銭でした。

村税中地価割は地租の一・二五%、営業割は営業税の一・三%、戸別割は戸数割の八・五五%でした。

村税の納期は全額を折半して前半期は八月、後半期は十一月でした。

翌二十三年に吏員の旅費額が定められました。それによりますと、管外雑費五銭、管内雑費二銭五厘、日当管外三〇銭、管内二五銭です。

当時は議事堂も無かったので村議会は山陰神社、成願寺、小野田尋常小学校を使用しました。道路も非常に不完全で皆徒歩でしたので総ての会合は午后開会でした。寺迫、越表地区の者は一泊

お知らせ



住宅資金の融資

- 宮崎県は、勤労者持家住宅建設資金の借入れ申し込みを受けています。
- ▽受付期限 49年10月31日まで
 - ▽受付場所 協力金融機関（宮崎銀行、宮崎相互銀行、宮崎県労働金庫）
 - ▽申込みのできる人 県内に居住する勤労者の人
 - ▽融資の対象 自ら居住する住宅で、次の各号の住宅建設（新築購入の住宅を含む）資金
 - ① 住宅金融公庫融資住宅
 - ② 年金福祉事業団融資住宅
 - ③ 公営住宅入居者で、割増賃料を支払っている人が建設する住宅
 - ④ 公共事業のため移転を必要とする人が建設する住宅
 - ⑤ 災害等により、住宅を失った人が建設する住宅
 - ▽融資額 一件につき百万円まで
 - ▽利率 年七・五%
 - ▽償還 元利均等月賦払方式、五年以内
 - ▽お問い合わせ先 日向土木事務所

これも早期発見 早期治療を



警察官の募集

日向市中町二
(電話) ②四一七一

県人事委員会では県警察官と警視庁、大阪府など十一都道府県の警察官を募集しています。

受験資格は新制高校卒業程度の学力を有し、昭和二十二年四月二日から三十二年四月一日までに生まれた男子。

試験は十月二十七日で、受付は八月二十七日から九月二十日までです。申込用紙は日向警察署、最寄の駐在所にご請求ください。

家庭看護講習会

日本赤十字社宮崎県支部で、次のとおり家庭看護講習会を開きます。

▽期日 8月28日、午前9時より11時まで

▽場所 町老人福祉館

▽講習内容 ねたきり老人のための看護の仕方（実習）

▽持参するもの 割ぼう着

簡保の資金

写真コンクール

▽テーマ 簡保資金融資施設（学校、公営住宅など）を題材とした明るい作品。融資施設は郵便局でおたずねください。

今月の納税

町県民税 二期
納期 八月三十一日

心配ごと相談

- ▽サイズ 白黒は四切、カラーはスライド三十五ミリ以上、いずれも写真に限りません。
- ▽作品の受付 郵便局の保険窓口
- ▽作品の締切 九月十四日
- ▽お問い合わせは郵便局の保険係へ

善意のともしび

町社会福祉協議会で心配ごとの相談に応じています。家庭や生活児童問題、その他のなやみ、心配ごとの相談をうけ、解決の糸口をみつれたり、他の機関と連絡をとり解決をはかります。

相談はいつでも受付けています。が、四人の相談員が毎月一回の相談日に応じています。

八月は九日が相談日です。

●小野田区の東村吉市さんから故喜代太郎さんの忌明けに香典返しとして町社会福祉協議会にご寄付いただきました。

ここに慎んで故人のご冥福をお祈りしますとともに厚くお礼を申し上げます。

東郷町社会福祉協議会

戸籍たより

出生おめでとう
六月届出分

赤ちゃんの名	父の名	部落
平野 美夏	宇市	小野田
南 恵子	公明	鶴野内
黒木 聖仁	義彦	寺迫
矢野 公仁	丈夫	小野田
長池 美紀	伸喜	福瀬
田辺 一広	伊三夫	〃
那須 崇達	允	小野田
田代 かり	治	寺迫
仁田 純弘	幸福	瀬

氏名	部落
稲寺 田原 優信	羽坪谷
子義	坂

氏名	年令	部落
東村 喜代太郎	七五	小野田
川越 シンモ	七九	福瀬
黒木 キン	八一	寺迫

人口	現在	対前月比
男	3,387人	(+9)
女	3,631人	(-1)
総数	7,018人	(+8)
世帯数	1,788世帯	(+3)

49年7月1日現在
()は対前月比